

# 第1四半期 決算説明資料(連結) (2013年6月期)

2012年11月12日

株式会社 アルバック

## ◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ(FPD)・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

## ◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現

2Q(累計) : 第2四半期連結累計期間

2Q : 第2四半期連結会計期間

## 2013/6期 1Qの状況

### ■ 事業環境

- ▶ 欧州景気の影響を受け、中国など新興国の成長が鈍化

### ■ ポジティブ要因

- ▶ スマートフォン用の高精細中小型液晶(LTPS)が堅調に推移
  - ◆ パネルメーカーの在庫調整が奏功し、主要各社の稼働率が向上
- ▶ 高齢化にともない、医薬・健康食品関連の引き合いが増加

### ■ ネガティブ要因

- ▶ 大型TV用液晶の投資回復せず。有機ELの投資も先送り
- ▶ PC需要の低迷で、メモリ関連投資が低調
- ▶ スマートフォン関連の電子部品メーカーの投資先送り

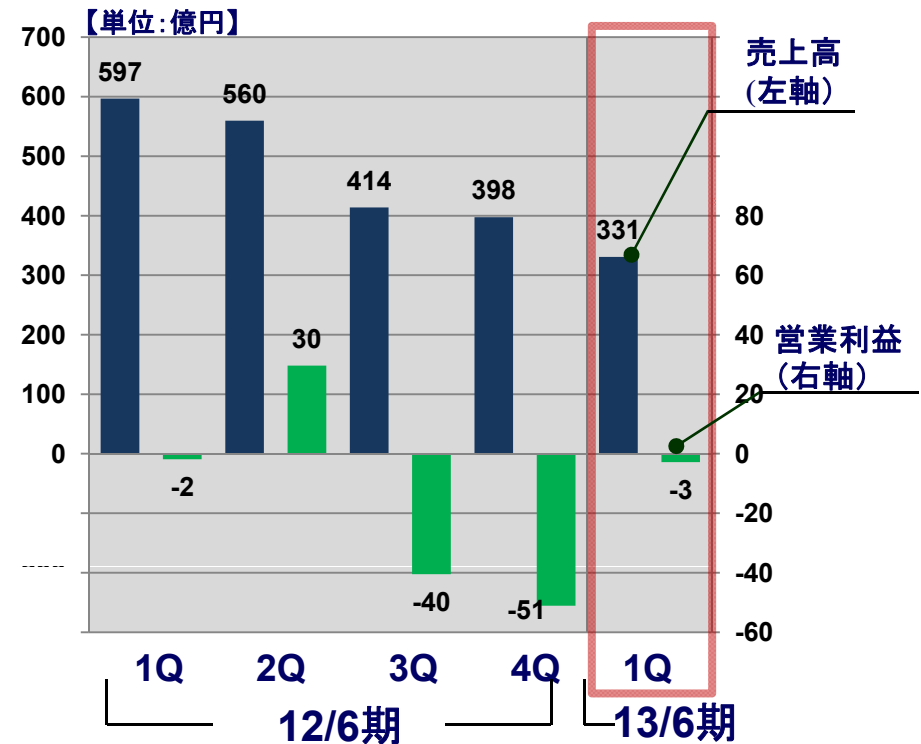
# 1Q(2013/6期)業績

受注高は、中小型液晶ディスプレイなどが寄与し、ほぼ予想通り。  
 売上高は、FPD製造装置が一部シフトし減少、予想を下回る。  
 営業利益は、コスト削減等により粗利率を引き上げ、前四半期から大幅に回復。

【単位:億円】

	2012/6期 1Q	2013/6期実績	
		1Q	前年同期比(増減率)
受注高	391	420	7.4%
受注残高	889	728	
売上高	597	331	-44.6%
売上総利益	97	75	-22.4%
率	16.2%	22.6%	
販管費	98	78	-21
営業利益	-2	-3	
率	-0.3%	-0.9%	
経常利益	3	-10	
率	0.5%	-3.1%	
四半期純利益	2	-15	
率	0.4%	-4.6%	

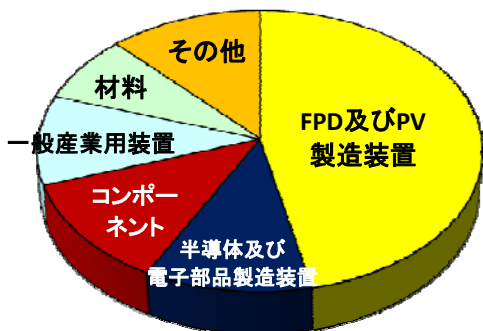
売上高と営業利益の推移



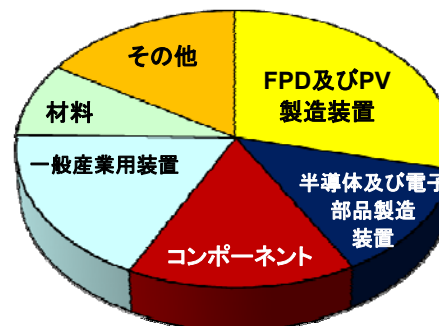
【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

# 1Q(2013/6期)受注・売上実績(品目別)

品目別受注高実績



品目別売上高実績



【単位:億円】

セグメント	1Q		計画対比 (1Q)
	受注高	構成比	
真空機器事業	336	80.0%	↑ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
FPD及びPV製造装置	196	46.5%	
半導体及び電子部品製造装置	47	11.2%	
コンポーネント	50	12.0%	
一般産業用装置	43	10.3%	
真空応用事業	84	20.0%	
材料	33	7.8%	
その他	51	12.1%	
合計	420	100.0%	

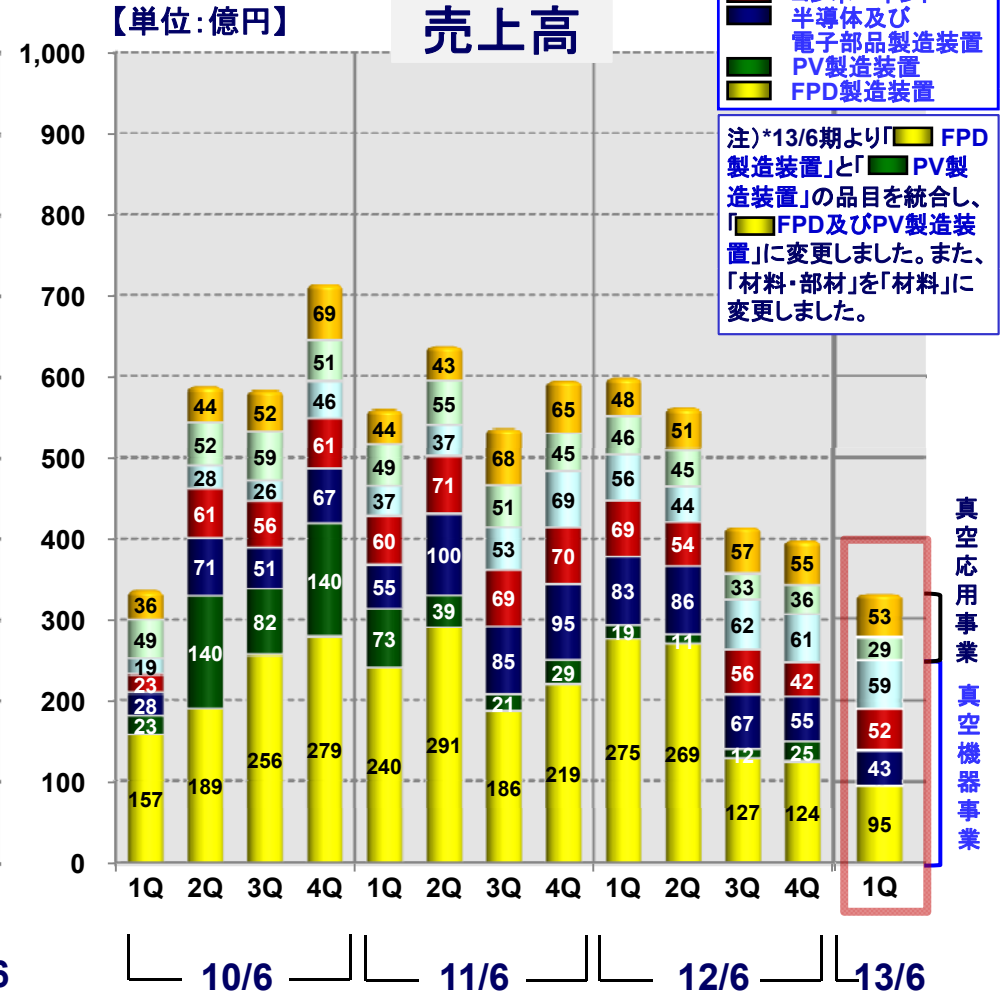
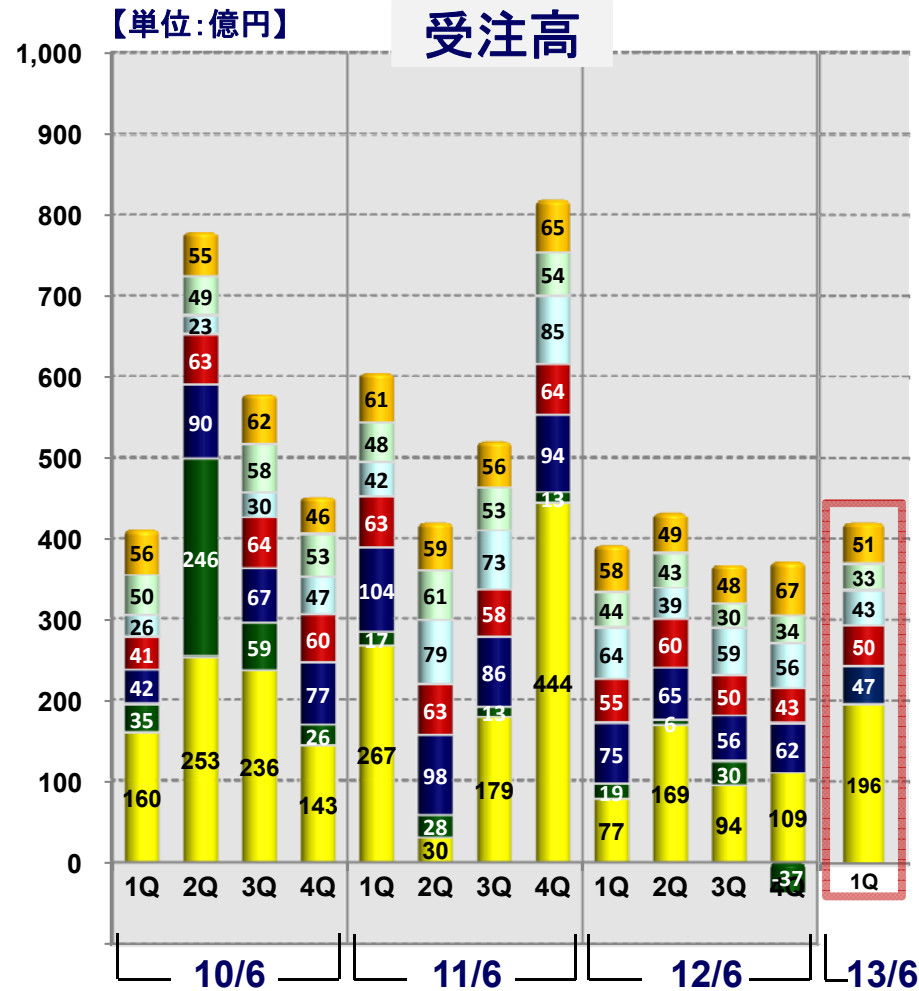
【単位:億円】

セグメント	1Q		計画対比 (1Q)
	売上高	構成比	
真空機器事業	249	75.2%	↓ ↓ ↑ ↑ ↑ ↓
FPD及びPV製造装置	95	28.7%	
半導体及び電子部品製造装置	43	13.1%	
コンポーネント	52	15.6%	
一般産業用装置	59	17.9%	
真空応用事業	82	24.8%	
材料	29	8.6%	
その他	53	16.1%	
合計	331	100.0%	

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

# 品目別受注・売上(四半期ベース)の推移

■受注は予想通り。売上はFPDが2Q ヘシフト。予想を下回る

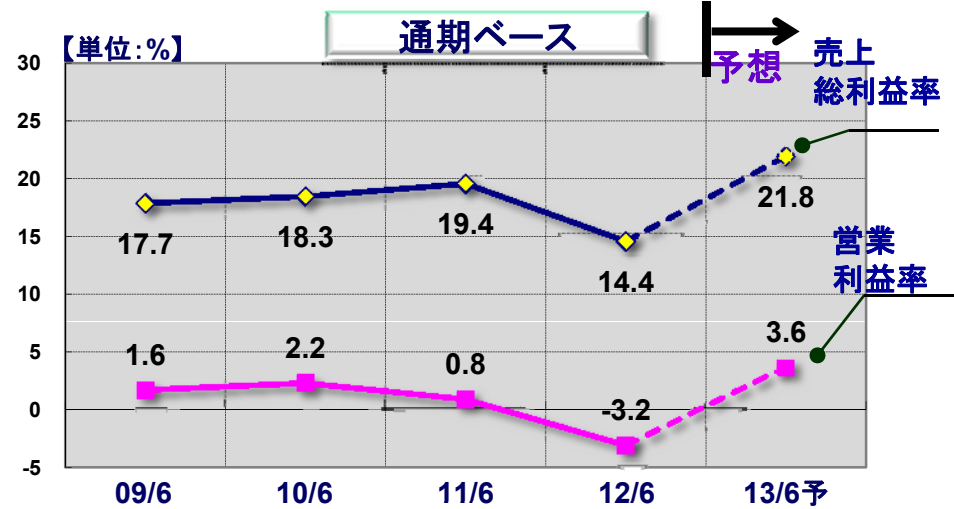
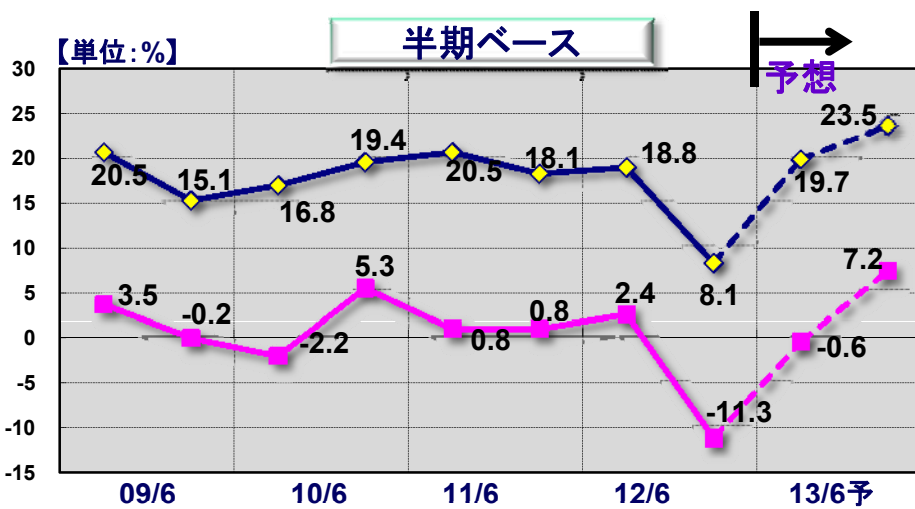
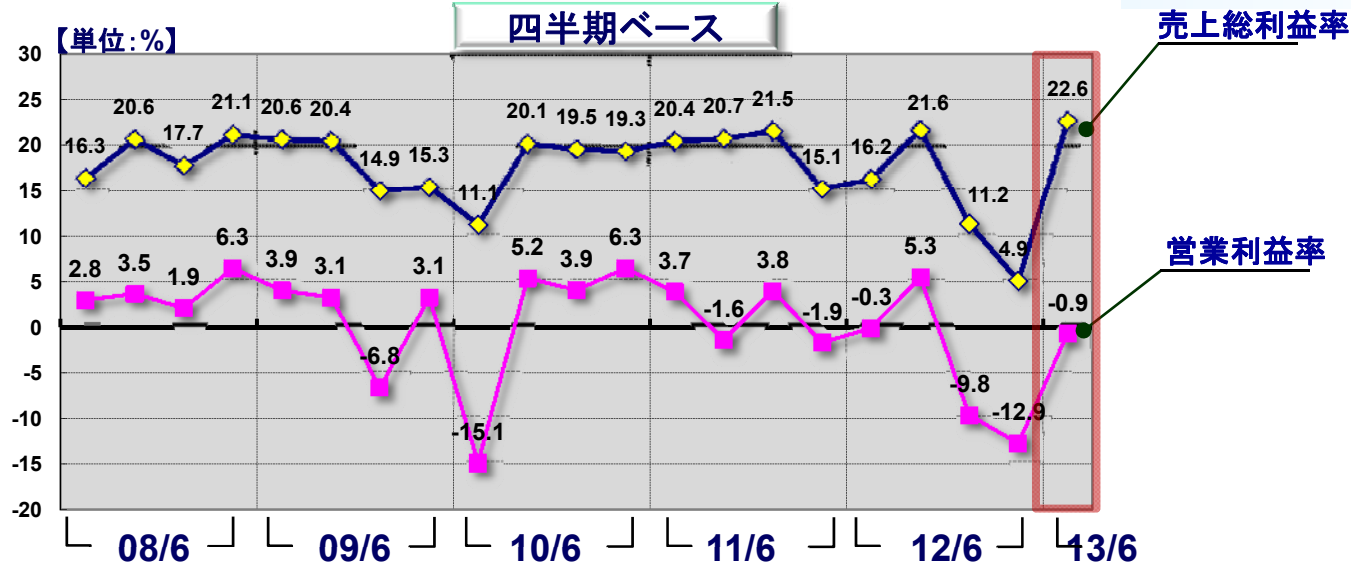


【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

# 2013/6期 1Q実績



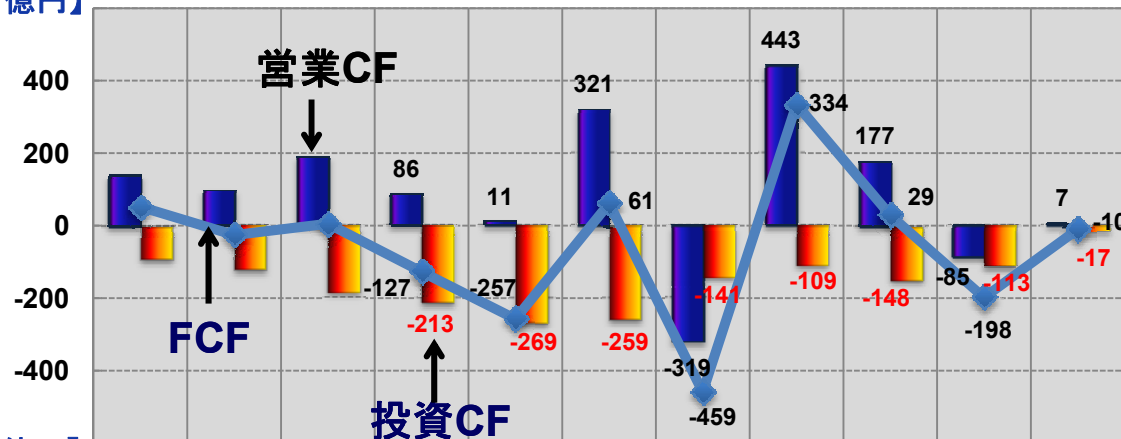
## 利益率の推移・予想



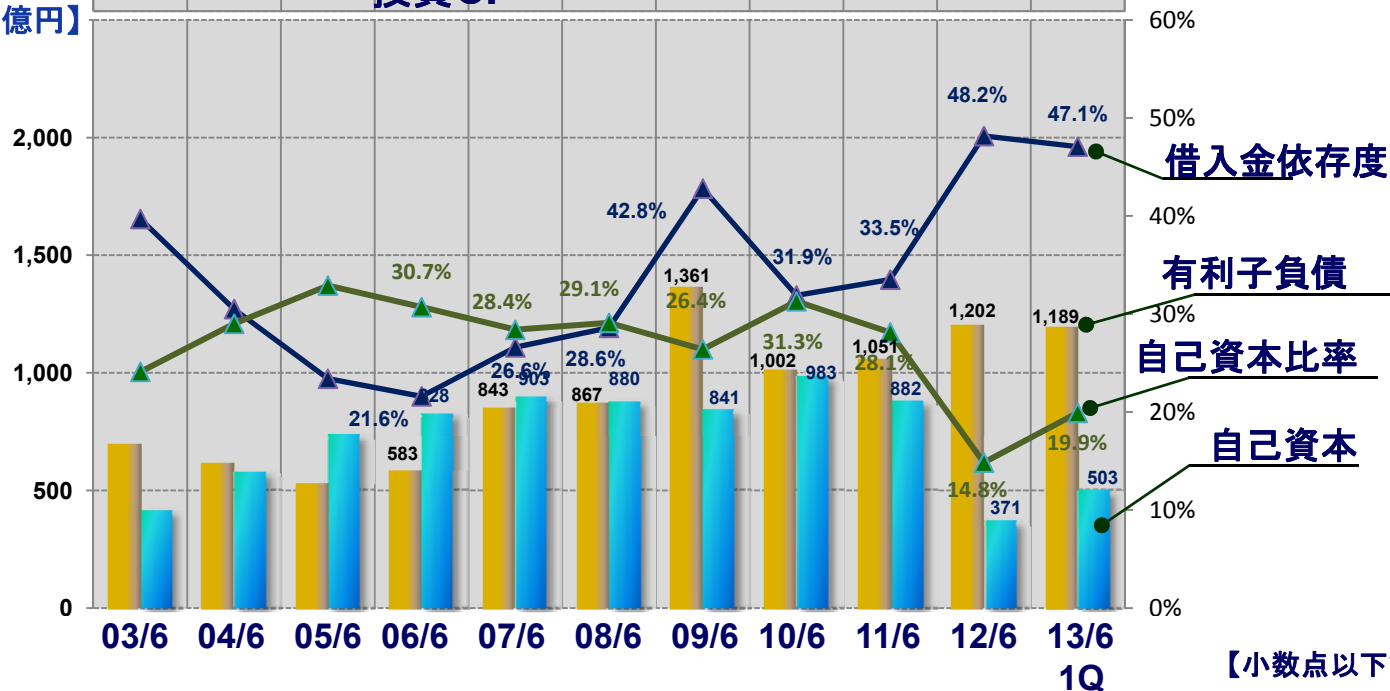
【小数点以下第2位は四捨五入】

# キャッシュ・フローと有利子負債の実績・予想

【単位：億円】



【単位：億円】



【小数点以下第2位は四捨五入】



# 2013/6期業績予想

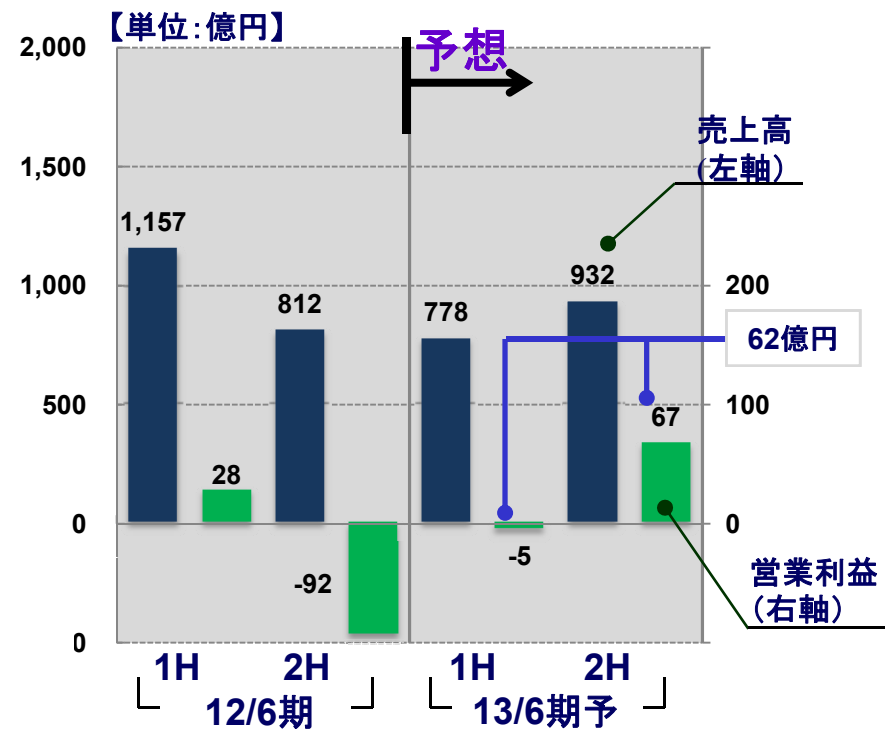
受注高は、FPDや半導体関連の投資先送りの影響で、予想値を下方修正。  
 売上高は、受注減少により、FPD製造装置、半導体及び電子部品製造装置などで下振れ。  
 営業利益は、売上減少により粗利が減少するが、固定費の削減を実施し、予想値の変更はなし。

【単位：億円】

	12/6期 実績	13/6期予想			
		2Q(累計)		通期予想	
		前回予想	修正	前回予想	修正
受注高	1,522 (-35%)	1,037 (+26%)	847 (+3%)	1,960 (+29%)	1,785 (+17%)
受注残高	650	897	719	820	725
売上高	1,968 (-15%)	790 (-32%)	778 (-33%)	1,790 (-9%)	1,710 (-13%)
営業利益	-64	-19	-5	62	62
率	-3.2%	-2.4%	-0.6%	3.5%	3.6%
経常利益	-65	-30	-13	46	46
率	-3.3%	-3.8%	-1.7%	2.6%	2.7%
当期純利益	-500	-36	-25	23	23

【( )内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

売上高と営業利益の推移(半期毎)

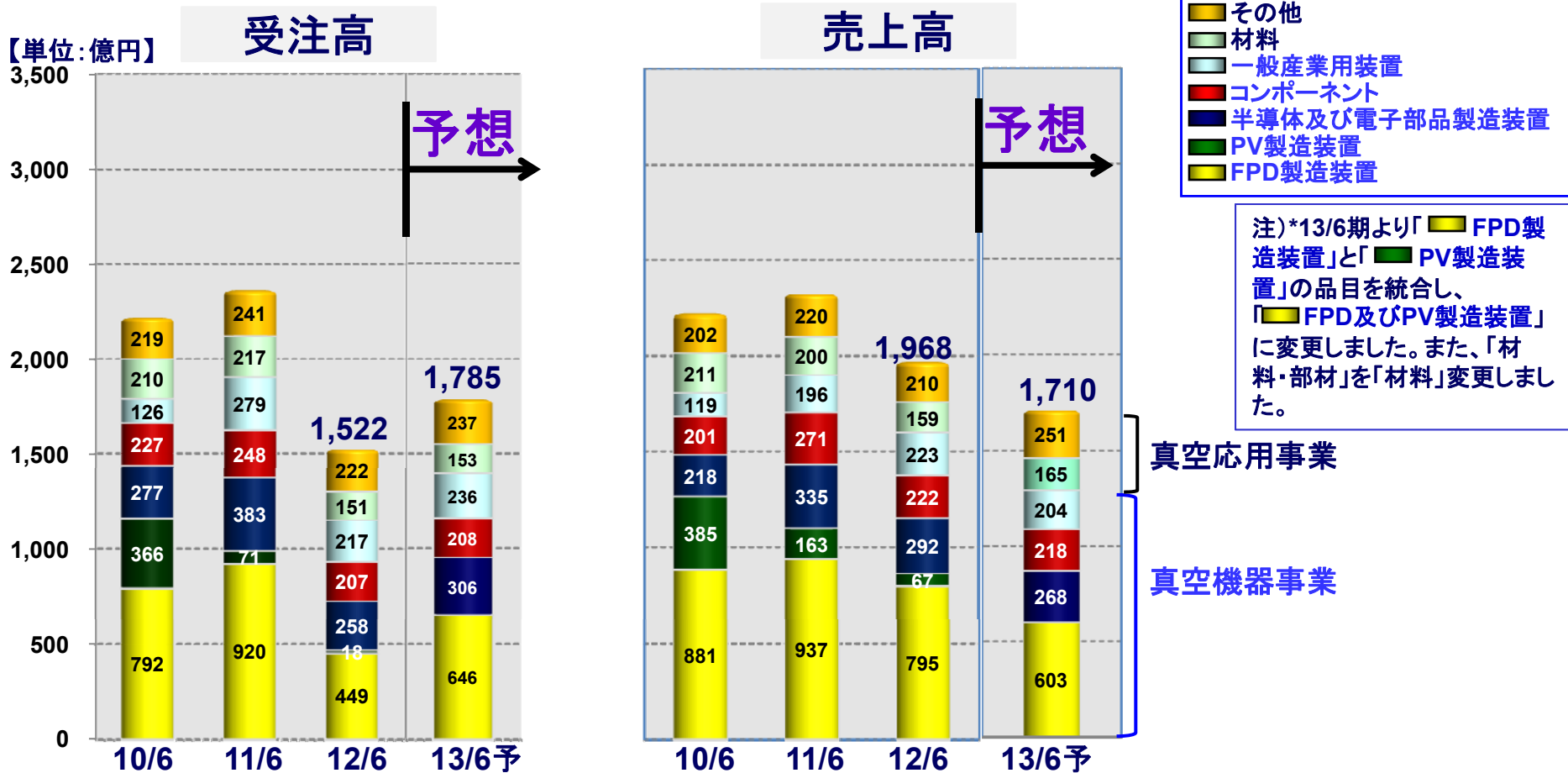


# 2013/6期予想



## 品目別受注高/売上高実績・予想

■13/6期の期首受注残が落ち込んだ結果、13/6期の売上が減少。受注は回復増加するものの、半導体、FPDの回復が遅れる傾向。



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

## 経営環境(2Q以降)

### ■アルバックをとりまく経営環境(短期的)

#### ▶世界的な景気減速で、エレクトロニクスを中心に投資先延ばし傾向

◆半導体:装置市場は、2013年マイナス成長。回復は2014年から

(出所:2012年10月ガートナー社)

◆FPD :パネル価格底入れ。高精細中小型は供給不足が続く。有機ELテレビは技術的難度が高く、本格生産には時間を要す。

### ■'13年以降

#### ▶半導体:ロジック大手への販売拡大を目指す

◆ロジック大手に、初めて前工程用装置の受注に成功。販売拡大チャンスが広がる。

◆メモリ(不揮発)は、主要顧客で評価中。投資再開で販売拡大を目指す。

#### ▶FPD:パネルの供給不足を予想

◆パネルの供給不足が予想され、2013年から2014年にかけて、大型TV、高精細中小型などの新規投資を予想。装置需要は増加に転じる

(出所:2012年10月ディスプレイサーチ社)

## 事業構造改革の目指すところ

蓄積してきた技術力をビジネスに結実させ、収益に結び付ける仕組みを作り、構造変化に対応したビジネスモデルを再構築する。

「構造改革推進室」を設置し、5つのプロジェクトを急速に推進

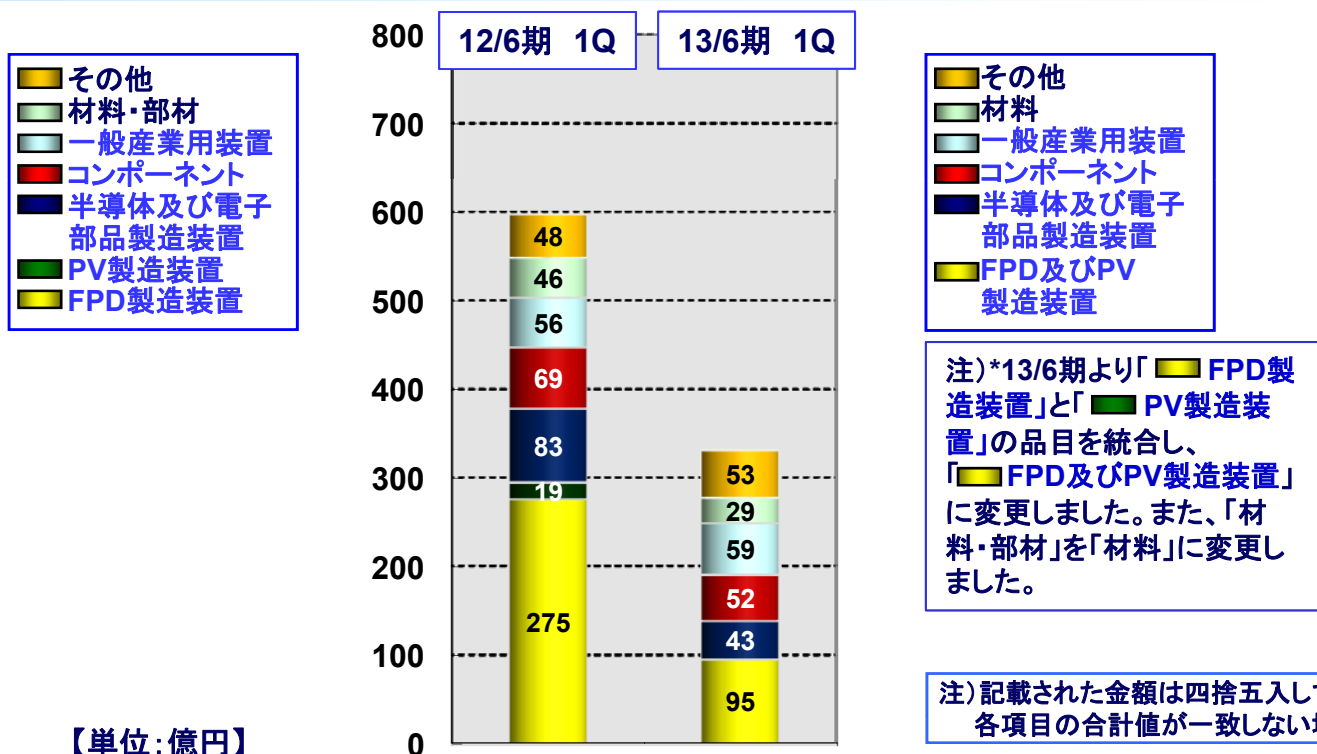
### 構造改革プロジェクト

- 1) コスト競争力強化 : 3S、コストダウン、海外生産
- 2) 価値創造型ビジネスモデル構築  
: R&D・商品戦略、営業戦略等
- 3) 業務改革
- 4) グループ経営管理
- 5) 人事制度改革

特に、重点的に推進

真空テクノロジーで  
「つくる」をつくる、アルバック  
ULVAC

# 品目別売上高実績(前年同期比)



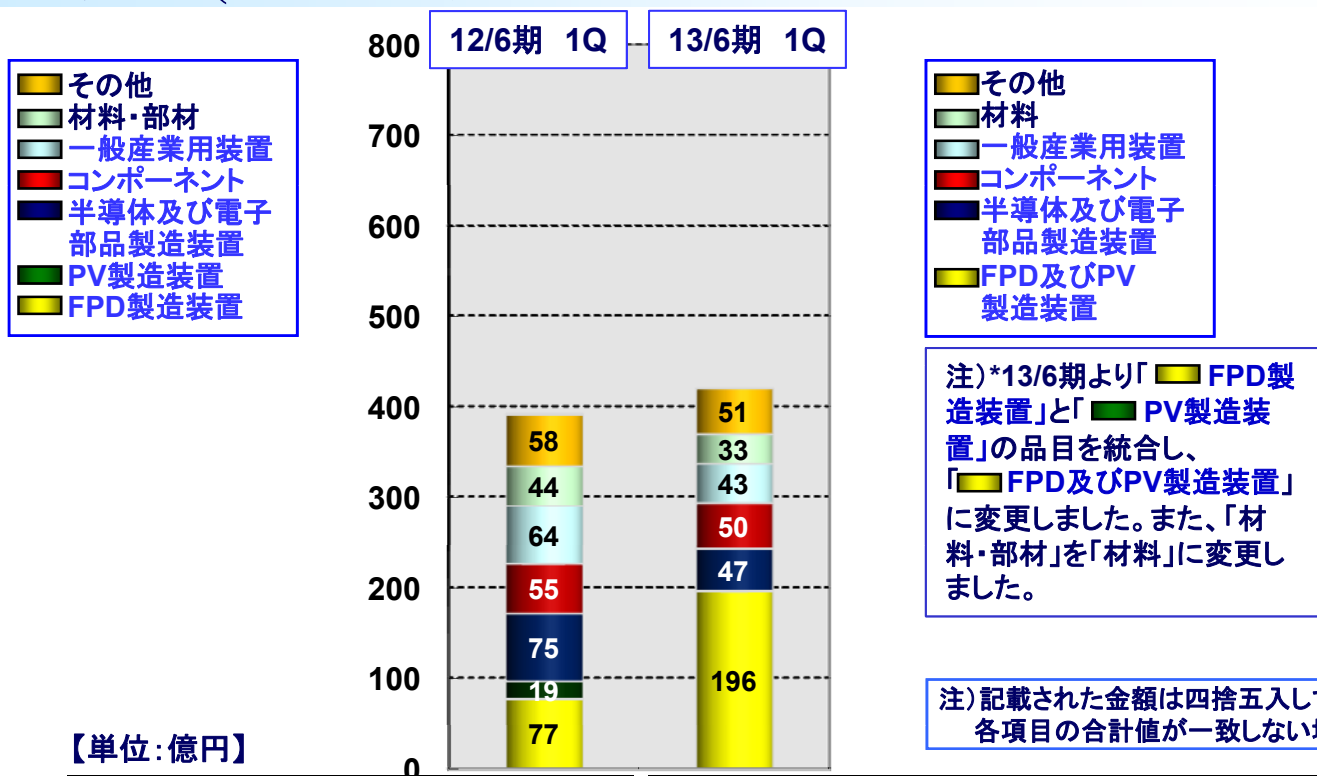
【単位:億円】

注)\*13/6期より「**FPD製造装置**」と「**PV製造装置**」の品目を統合し、「**FPD及びPV製造装置**」に変更しました。また、「**材料・部材**」を「**材料**」に変更しました。

注)記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

12/6期 1Q			13/6期 1Q			前年同期比 (増減率)
セグメント	売上高	構成比	セグメント	売上高	構成比	
真空機器事業	503	84.3%	真空機器事業	249	75.2%	-50.5%
FPD製造装置	275	46.1%	FPD及びPV製造装置	95	28.7%	-67.7%
PV製造装置	19	3.2%	半導体及び電子部品製造装置	43	13.1%	-48.1%
半導体及び電子部品製造装置	83	14.0%	コンポーネント	52	15.6%	-25.4%
コンポーネント	69	11.6%	一般産業用装置	59	17.9%	5.4%
一般産業用装置	56	9.4%	真空応用事業	82	24.8%	-12.8%
真空応用事業	94	15.7%	材料	29	8.6%	-37.4%
材料・部材	46	7.6%	その他	53	16.1%	10.5%
その他	48	8.1%	合計	331	100.0%	-44.6%
合計	597	100.0%				

# 品目別受注高実績(前年同期比)



注)\*13/6期より「FPD製造装置」と「PV製造装置」の品目を統合し、「FPD及びPV製造装置」に変更しました。また、「材料・部材」を「材料」に変更しました。

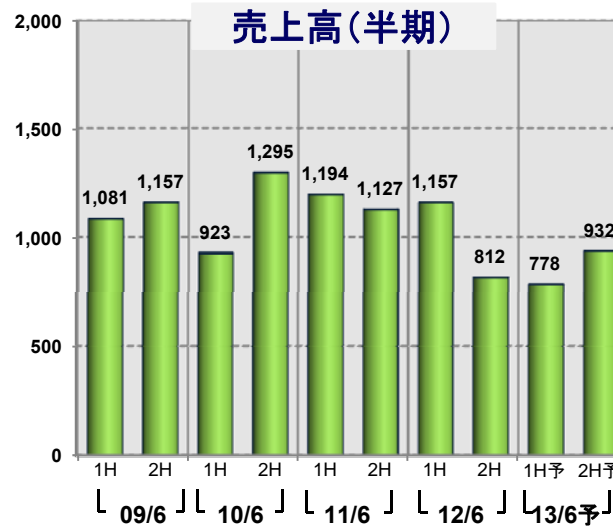
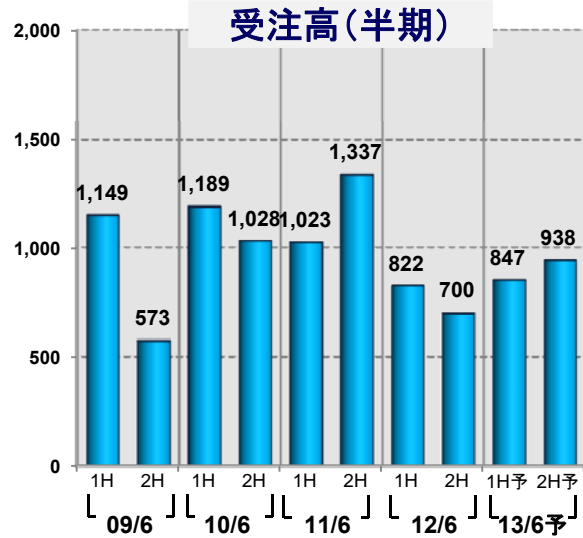
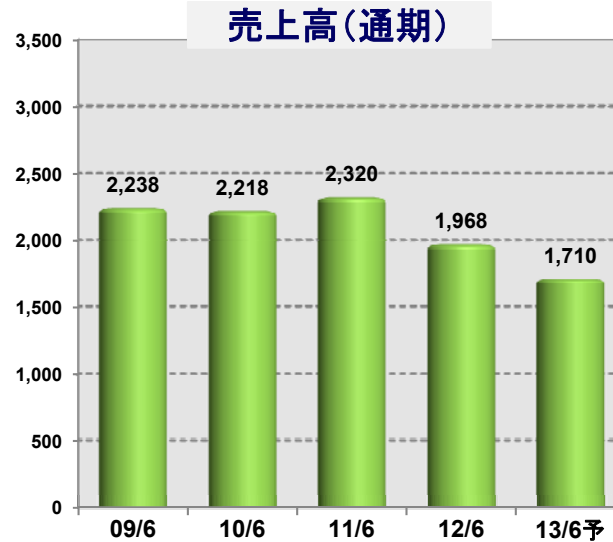
注)記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

【単位:億円】

12/6期 1Q			13/6期 1Q			前年同期比 (増減率)
セグメント	受注高	構成比	セグメント	受注高	構成比	
<b>真空機器事業</b>	<b>290</b>	<b>74.0%</b>	<b>真空機器事業</b>	<b>336</b>	<b>80.0%</b>	<b>16.1%</b>
FPD製造装置	77	19.7%	FPD及びPV製造装置	196	46.5%	103.1%
PV製造装置	19	4.9%				
半導体及び電子部品製造装置	75	19.2%	半導体及び電子部品製造装置	47	11.2%	-37.2%
コンポーネント	55	14.0%	コンポーネント	50	12.0%	-8.0%
一般産業用装置	64	16.2%	一般産業用装置	43	10.3%	-32.0%
<b>真空応用事業</b>	<b>102</b>	<b>26.0%</b>	<b>真空応用事業</b>	<b>84</b>	<b>20.0%</b>	<b>-17.5%</b>
材料・部材	44	11.2%	材料	33	7.8%	-24.8%
その他	58	14.8%	その他	51	12.1%	-12.1%
<b>合計</b>	<b>391</b>	<b>100.0%</b>	<b>合計</b>	<b>420</b>	<b>100.0%</b>	<b>7.4%</b>

# 受注高・売上高・受注残高の推移・予想

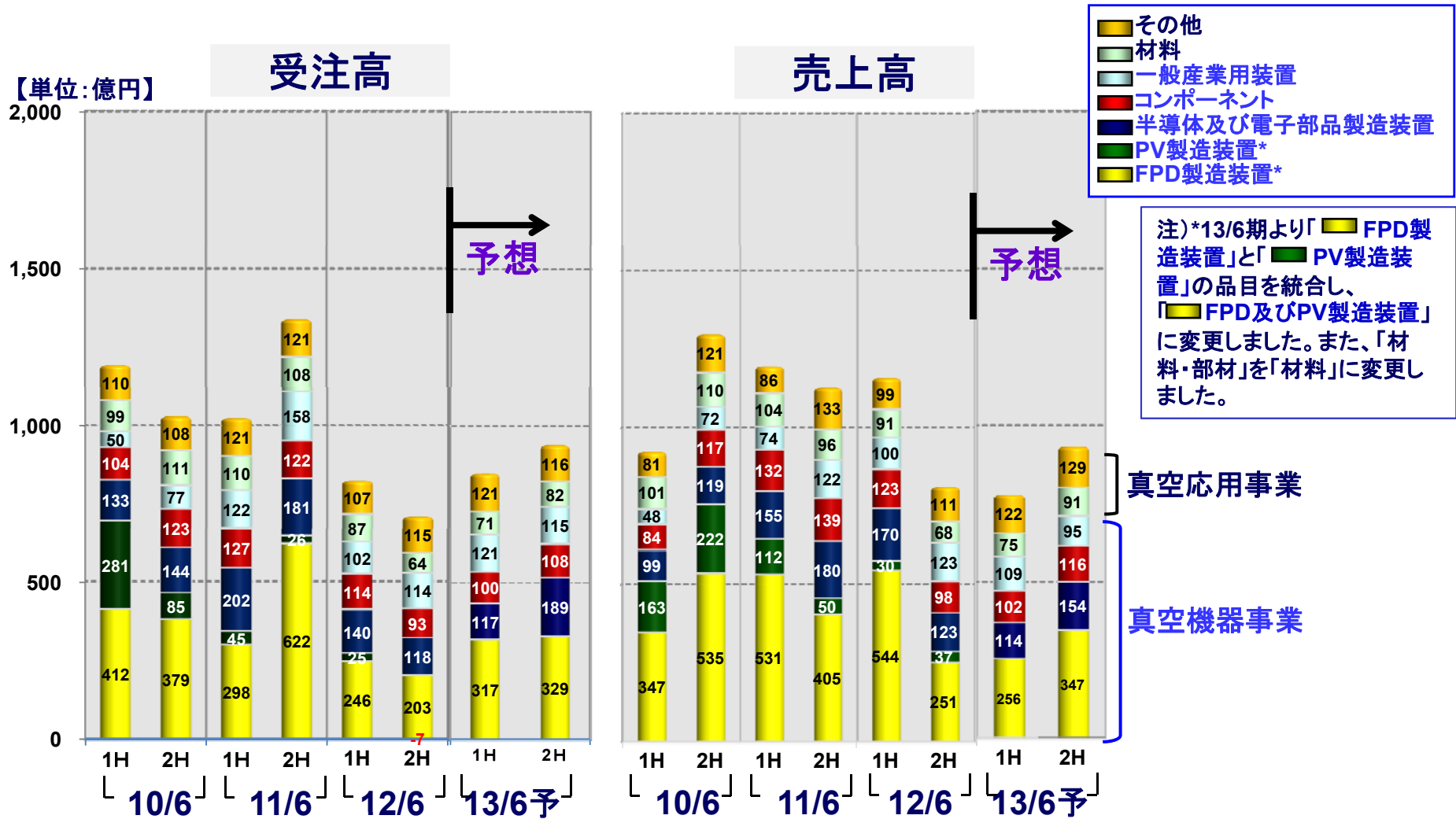
【単位：億円】



【小数点以下は四捨五入】



# 品目別受注高/売上高推移・予想(半期)

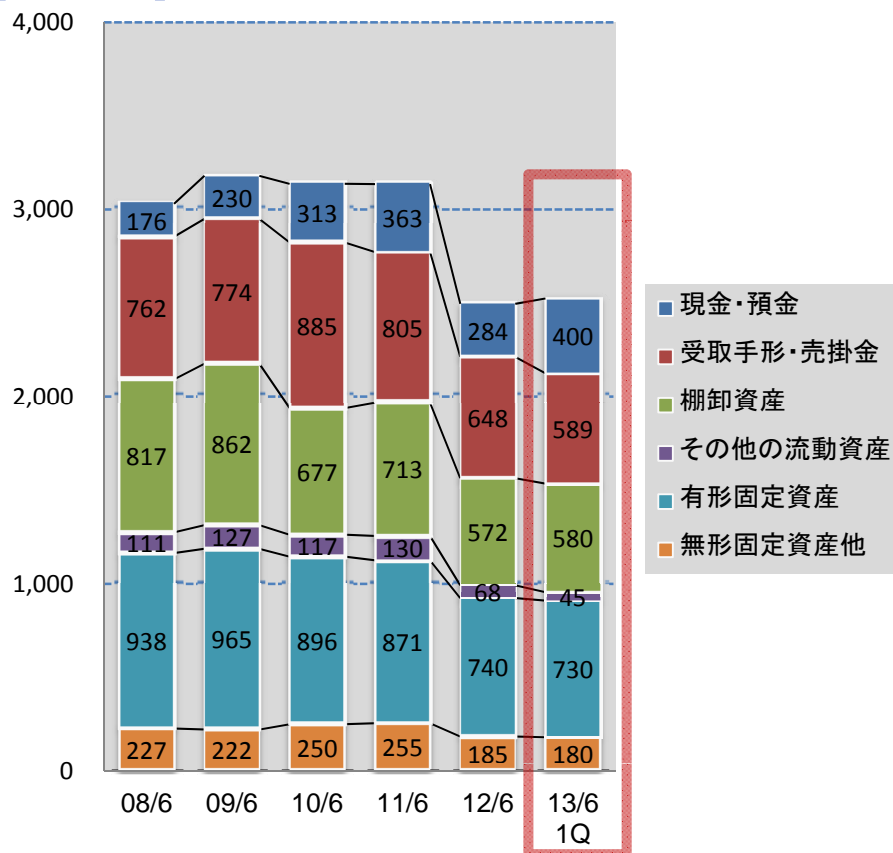


【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

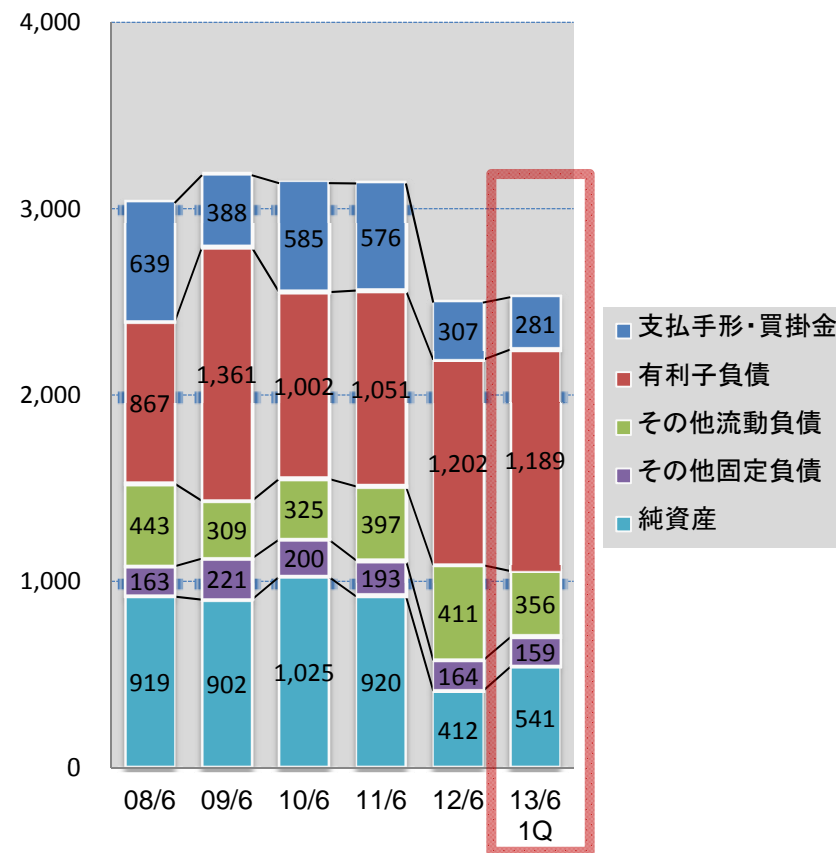
# 連結貸借対照表

## 資産の部

【単位：億円】



## 負債・純資産の部



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

# ULVAC

